



平成30年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社壽屋 上場取引所 東
 コード番号 7809 URL <https://www.kotobukiya.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一行
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 村岡 幸広 (TEL) 042-522-9810
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の業績(平成29年7月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|---|----------------------------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年6月期第2四半期 | 4,702 | — | 404 | — | 356 | — | 242 | — |
| 29年6月期第2四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 30年6月期第2四半期 | 94.75 | | 90.29 | | | | | |
| 29年6月期第2四半期 | — | | — | | | | | |

- (注) 1. 平成29年6月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年6月期第2四半期の数値及び平成29年6月期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 平成29年7月21日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、平成30年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。
 3. 当社は、平成29年9月26日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)へ上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から当第2四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算出しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年6月期第2四半期 | 8,162 | 2,637 | 32.3 |
| 29年6月期 | 7,452 | 1,882 | 25.3 |

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 2,637百万円 29年6月期 1,882百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年6月期 | — | 0.00 | — | 51.00 | 51.00 |
| 30年6月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 30年6月期(予想) | — | — | — | — | — |

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成29年7月21日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、期末配当金額については当該株式分割前の金額を記載しております。
 3. 平成30年6月期(予想)の期末配当金については未定です。

3. 平成30年6月期の業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,368 | 4.5 | 634 | 34.2 | 550 | 26.5 | 358 | 42.5 | 136.40 |

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 平成30年6月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(300,000株)を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|------------|--------|------------|
| 30年6月期2Q | 2,698,500株 | 29年6月期 | 2,397,000株 |
|----------|------------|--------|------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----|--------|----|
| 30年6月期2Q | －株 | 29年6月期 | －株 |
|----------|----|--------|----|

③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|----------|------------|----------|----|
| 30年6月期2Q | 2,555,184株 | 29年6月期2Q | －株 |
|----------|------------|----------|----|

(注) 当社は、第2四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成29年6月期第2四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や所得増加に伴う消費の持ち直しにより緩やかな回復基調にあるものの、海外については中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性や金融資本市場の変動の影響等により、依然として不透明な状況が続いております。

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、ヘッドマウントディスプレイ機器の普及が進み、映像による仮想現実の没入体験ができるバーチャルリアリティ技術により新たな市場が創出され、期待と注目がされております。

このような環境の下、当社はフィギュア、プラモデル製品等の企画・開発・販売を行う卸売販売、直営店舗・ECサイトによる製品の販売を行う小売販売に取り組んでまいりました。

当社オリジナルコンテンツの「フレームアームズ・ガール」では、平成29年10月に初の単独イベントなる「フレームアームズ・ガールLIVESHOW!若葉女子高文化祭～Autumn～」、平成29年11月にシンガポールにおける「C3アニメフェスティバルアジア2017」等のイベントの開催や、他社のソーシャルゲームや商品とのコラボレーション等を行うことにより主力コンテンツとして確立できるよう取り組んでまいりました。当コンテンツの関連製品が好調に推移し業績に貢献しました。また、当社オリジナルコンテンツ製品については、前事業年度から販売を開始した「メガミデバイス」シリーズ、当事業年度から販売を開始した「ヘキサギア」とともに大きな反響をいただいております。今後も期待できるタイトルに成長しつつあります。他社ライセンスの製品については、ゲームのヒットによりフィギュア「PERSONA 5 ARTFX J 主人公 怪盗ver.」、ソーシャルゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」の人気により、「ラバーストラップコレクション 刀剣乱舞-ONLINE-くつろぎver.」、フィギュア「ARTFX J 燭台切光忠」、ソーシャルゲーム「fate/Grand Order」の人気によりフィギュア「ランサー/玉藻の前」等の売上が好調に推移しました。また、当社女性向けブランド「esシリーズ」のイベント「es fest」を平成29年8月にアニメイトと共同開催し盛況な結果となり、イベント関連品である「KING OF PRISM」のグッズ販売が好調に推移いたしました。

海外市場では、平成29年7月に映画「スパイダーマン：ホームカミング」、平成29年11月に「ジャスティス・リーグ」平成29年12月に「スター・ウォーズ/最後のジェダイ」関連の製品等を販売しました。また、直営店舗及び海外限定で販売した「鋼の錬金術師 ARTFX J エドワードエルリック Limited Edition」の造形が海外で評価され売上に貢献しました。オリジナルライセンス製品についても「フレームアームズ・ガール」シリーズをはじめアジアを中心に好調に推移しました。

直営店舗、ECサイトによる小売販売につきましては、「フレームアームズ・ガール」シリーズの直営店限定商品やブルーレイディスクが好調に推移し、業績を牽引いたしました。また、直営店舗では平成29年8月に開催したイベントの「テイルズオブ夏祭り2017」、平成29年9月に開催した「PERSONA 5 イベント」が盛況な結果となり、各コンテンツの関連商品が業績に貢献しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,702,384千円、営業利益は404,775千円、経常利益は356,286千円、四半期純利益は242,097千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は8,162,577千円となり、前事業年度末に比べ709,807千円(9.5%)の増加となりました。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は4,197,438千円で、前事業年度末に比べ855,768千円(25.6%)増加しております。現金及び預金の増加316,201千円、売掛金の増加291,303千円、商品及び製品の増加164,288千円が主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は3,965,139千円で、前事業年度末に比べ145,961千円(3.6%)減少しております。建物の減少70,703千円、その他に含まれる工具、器具及び備品の減少79,734千円が主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は2,121,044千円で、前事業年度末に比べ123,460千円(6.2%)増加しております。短期借入金の増加200,000千円、その他に含まれる1年以内返済長期借入金の減少87,638千円が主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は3,404,359千円で、前事業年度末に比べ167,852千円(4.7%)減少しております。長期借入金の減少168,623千円、社債の減少10,000千円が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は2,637,173千円で、前事業年度末に比べ754,199千円(40.1%)増加しております。増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ276,000千円増加したこと並びに四半期純利益242,097千円を計上したことによる増加があった一方で、配当金の支払いにより40,749千円減少したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ246,128千円増加し、464,851千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加291,303千円、たな卸資産の増加188,322千円による減少があった一方で、税引前四半期純利益356,286千円、減価償却費472,060千円による資金の増加を主な要因として、243,670千円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出317,858千円、無形固定資産の取得による支出3,720千円等による資金の減少を主な要因として、400,320千円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは社債償還による支出40,000千円、配当金の支払額40,749千円等による資金の減少があった一方で、株式発行による収入の546,440千円による資金の増加を主な要因として409,430千円の収入となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月26日付「東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました平成30年6月期の通期の業績予想につきましては変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年6月30日) | 当第2四半期会計期間 (平成29年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,100,809 | 1,417,011 |
| 売掛金 | 824,376 | 1,115,680 |
| 商品及び製品 | 639,333 | 803,621 |
| 未着品 | 9,565 | 42,196 |
| 仕掛品 | 285,298 | 277,877 |
| 貯蔵品 | 4,292 | 3,117 |
| その他 | 583,283 | 633,764 |
| 貸倒引当金 | △105,290 | △95,830 |
| 流動資産合計 | 3,341,669 | 4,197,438 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 2,358,506 | 2,287,802 |
| 土地 | 708,408 | 708,408 |
| その他(純額) | 581,173 | 511,479 |
| 有形固定資産合計 | 3,648,087 | 3,507,689 |
| 無形固定資産 | 136,269 | 120,671 |
| 投資その他の資産 | 326,743 | 336,777 |
| 固定資産合計 | 4,111,100 | 3,965,139 |
| 資産合計 | 7,452,770 | 8,162,577 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 354,004 | 428,383 |
| 短期借入金 | 400,000 | 600,000 |
| 未払法人税等 | 125,649 | 153,836 |
| 賞与引当金 | 43,458 | 45,444 |
| ポイント引当金 | 88,399 | 120,554 |
| その他 | 986,072 | 772,825 |
| 流動負債合計 | 1,997,584 | 2,121,044 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,000 | — |
| 長期借入金 | 3,254,630 | 3,086,007 |
| 退職給付引当金 | 76,794 | 81,884 |
| 役員退職慰労引当金 | 186,500 | 191,200 |
| 資産除去債務 | 14,951 | 15,032 |
| その他 | 29,335 | 30,235 |
| 固定負債合計 | 3,572,211 | 3,404,359 |
| 負債合計 | 5,569,795 | 5,525,403 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 150,000 | 426,425 |
| 資本剰余金 | 112,500 | 388,925 |
| 利益剰余金 | 1,620,474 | 1,821,823 |
| 株主資本合計 | 1,882,974 | 2,637,173 |
| 純資産合計 | 1,882,974 | 2,637,173 |
| 負債純資産合計 | 7,452,770 | 8,162,577 |

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 4,702,384 |
| 売上原価 | 2,969,930 |
| 売上総利益 | 1,732,454 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,327,679 |
| 営業利益 | 404,775 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 203 |
| 受取手数料 | 1,055 |
| その他 | 1,350 |
| 営業外収益合計 | 2,610 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 23,576 |
| 株式公開費用 | 13,200 |
| 株式交付費 | 6,409 |
| 為替差損 | 3,962 |
| その他 | 3,950 |
| 営業外費用合計 | 51,098 |
| 経常利益 | 356,286 |
| 税引前四半期純利益 | 356,286 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 142,592 |
| 法人税等調整額 | △28,403 |
| 法人税等合計 | 114,188 |
| 四半期純利益 | 242,097 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日) |
|-------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 356,286 |
| 減価償却費 | 472,060 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 1,985 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 5,090 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 4,700 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △9,460 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | 32,155 |
| 受取利息及び受取配当金 | △203 |
| 支払利息 | 23,576 |
| 為替差損益(△は益) | 6,652 |
| 株式交付費 | 6,409 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △291,303 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △188,322 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 74,378 |
| その他 | △114,455 |
| 小計 | 379,549 |
| 利息及び配当金の受取額 | 230 |
| 利息の支払額 | △23,707 |
| 法人税等の支払額 | △112,402 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 243,670 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △748,241 |
| 定期預金の払戻による収入 | 678,168 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △317,858 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △3,720 |
| その他 | △8,668 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △400,320 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入れによる収入 | 400,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △200,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △256,261 |
| 社債の償還による支出 | △40,000 |
| 株式の発行による収入 | 546,440 |
| 配当金の支払額 | △40,749 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 409,430 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △6,652 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 246,128 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 218,723 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 464,851 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年9月26日に東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) 市場に上場いたしました。株式上場にあたり、平成29年9月25日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株発行300,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ276,000千円増加しております。またストック・オプションの行使1,500株により資本金及び資本準備金がそれぞれ425千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が426,425千円、資本剰余金が388,925千円となっております。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントはホビー関連品製造販売事業のみの単一であるため、記載を省略しております。